

科目分類	統合分野	学 年	3 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	災害看護と国際協力	学 期	後 期	重岡 功治（看護師） 岩本 由美（看護師）
		単 位 数	1	
		時 間 数	30	
目的 (ねらい)	<p>(災害看護) 災害が社会や地域の人々の生命や生活に影響を及ぼすことを理解した上で、災害に関する看護独自の知識や技術を適用し、多くの専門分野と協働して、看護活動を展開することを学ぶ。</p> <p>(国際協力) 世界における健康問題、国際保健医療の変遷について学び、世界ではどのような健康問題が生じているのか、それに対する保健医療活動や保健政策を学ぶ。 また、異文化への理解を深め、国内外で発生する問題に対してグローバルな視点で看護を考えることができることを目指す。</p>			
目標	<p>(災害看護)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 災害医療・災害看護の概念を理解する。 2. 災害発生時の対応について理解する。 3. 災害サイクル各期に必要な災害看護の知識・技術を習得する。 <p>(国際協力)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際看護にかかわる基本的な概念を理解する。 2. 世界の健康問題について学び、異文化の価値観を尊重した看護を理解する。 3. 看護の国際協力のしくみと具体的なプログラムを理解する。 4. ボランティア活動の意義を理解する。 			
授業計画	担当教員：重岡 功治			
	1. 災害看護			
	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	災害看護の概要	1. 災害看護の概要 2. 災害発生時の対応（国、県など） 3. DVD 視聴「石巻赤十字病院の 3.11」	講義
	2	CSCA について	1. CSCA について（JR 福知山線脱線事故を例に） 2. DVD 視聴 「被災地での 40 日」	講義
	3	トリアージについて	トリアージの方法 トリアージタグの記入について	講義
	4	治療と搬送	1. 災害現場での治療 搬送の方法・基準・考え方 2. DVD 視聴 「トリアージ」	講義
	5	避難所・救護所の開設と看護ケア	避難所・救護所の開設と看護ケア	講義
	6	災害とこころのケア	被災者のこころのケア 救援者の心のケア	講義
	7-8 (45 分)	トリアージシミュレーション	トリアージをシミュレーションする	演習
担当教員：岩本 由美				
2. 国際協力				
回数	単元項目	内容	授業形態	
1	国際看護とは	国際社会と国際保健に関する問題意識 異文化理解、プライマリヘルスケア	講義	
2	「人間の安全保障」と国際機関	グローバルヘルスに関わる国際機関 (UN, WHO, UNEHR 等)	講義	
3-4	異文化理解	持続的開発目標 (SDGs) と MDGs 異文化理解体験 (私はだれ?)	演習	
5~8 (45 分)	国際協力への理解を深める	異文化理解体験 (言葉の壁を感じてみよう) 多様性の中で生きる私たち 国際協力の理解を深める	演習 講義	

			<p>—聞いて、見て、体験する— 課題解決発見ワーク 自分でできることを企画してみよう 課題解決発見ワーク 企画した内容を発表してみよう</p>	<p>講義 演習 演習</p>
教科書	(災害看護) 新体系看護学全書 統合分野 看護の統合と実践2「災害看護学」メヂカルフレンド社 (国際協力) 知って考えて実践する国際看護(第二版)近藤真理 医学書院			
参考文献	(災害看護) 災害看護に関する本 (国際協力) 系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践[3] 災害看護学・国際看護学 医学書院			
評価方法	定期試験は、1. 災害看護(100点)、2. 国際協力(100点) 1、2の結果を合計し、平均点を最終評価とする。 2. 国際協力については、演習参加(40%)と定期試験(60%)で総合的に評価する。			
関連科目	(災害看護) 社会学 心理学 人間関係論 生命倫理学 環境と人間 保健医療論Ⅰ・Ⅱ 社会福祉と法規 看護関係法規 基礎看護学 成人看護学 老年看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学 在宅看護論 (国際協力) 解剖生理学 生化学 臨床薬理学 臨床栄養学 病理学総論・各論 看護学			
自己学習に関する指針	(災害看護) メディア等で災害看護に関心を持つ。 (国際協力) 世界で今何が起きているのか、新聞やニュースに耳を傾け、その背景には何の関係しているのか、看護職とどう関係しているのかについて考える。			
その他の通知事項	随時質問に応じる。			